

2018年度
学校関係者評価委員会
報告書



学校法人 大和学園
キャリアールホテル旅行専門学校

I. 学校関係者評価委員会の目的

委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動その他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、自己評価の結果に基づき客観的に評価することを目的とする。(キャリアールホテル旅行専門学校 学校関係者評価委員会規則 第2条)

II. 2018年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時 2018年9月6日(木) 10時30分～12時00分

2. 場 所 キャリールホテル旅行専門学校 (ダイニングルーム)

3. 出席者 委員長 北條 嘉久様(学校法人 大和学園 評議員)
委 員 林 恵子様(京都ブライトンホテル 執行役員 総支配人)
委 員 中尾 太輔様(株式会社JTB西日本 京都支店 営業第二課長)
委 員 村上 久美様
(株式会社クラウドディアコスチュームサービス 執行役員 衣裳・美容事業部長)
委 員 柿原 宏幸様(キャリアールホテル旅行専門学校 同窓会会長)
事務局 楠井 秀和(キャリアールホテル旅行専門学校 校長)
事務局 丸岡 文有(キャリアールホテル旅行専門学校 教務部 次長)
事務局 池田 隆二(キャリアールホテル旅行専門学校 教務部)

4. 議 事

(1) 各学科の教育目標および本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画についての説明

(2) 自己評価結果についての説明および評価

【1】教育理念・目標	／	【2】学校運営
【3】教育活動	／	【4】学修成果
【5】学生支援	／	【6】教育環境
【7】学生の受入れ募集	／	【8】財務
【9】法令等の遵守	／	【10】社会貢献・地域貢献
【11】国際交流		

(3) 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果の説明

Ⅲ. 評価委員からの評価・意見および校内で検討した改善方策

評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	(1) 教育理念・目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・項目4「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」の評価「3」は在籍の学生、これからの学生についても必要となるだろう。加えて(3)の旅行会社のサービス状況は変貌しつつある。将来的な業務の変化が生じるだろう。 ・項目4「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」について、保護者向けの案内は学校からの一方通行の案内になってしまっているのではないかと。親御さんからの意見を大切にすべきだろう。この点で、家庭での教育も重要となる。 ・項目4「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」の評価「3」について、評価を上げるには難しいのではないかと。特に親が教育について、高校卒業から干渉がなくなる傾向にあると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の卒業前に、保護者対象に本校の教育内容について、アンケートを実施している。 	
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	(2) 学校運営	
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	(3) 教育活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・項目6「関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか」について、実際にインターンシップ生を受け入れ、大学生と比べて専門的なスキルにおいて理解が 		

<p>あり、大変良かった。次回のインターンシップに向けて、今回のフィードバックをいただき、次年度のインターンシップをより良いものにさせていただきたい。</p> <p>・ブライダルの業界研究について、来年度はどのように変わるか。</p>	<p>⇒教育課程編成委員会を経て、カリキュラム検討ワーキングを行っている。業界検定の合格を目指し、カリキュラムの調整を行っている。</p> <p>⇒学科試験と実技試験に向けてABC検定特講を業界検定特講に差し替える対応を行っている。実技試験については、サービスの映像をみて、対応で間違っていた箇所を挙げるような試験となる。このような試験に向けた対策を行う。また、従来のABC検定も実施されるが、ABC検定では、試験問題について、各学校が作成するようになる。実施結果を検定協会に提出となる。ホテル分野でもマネジメントのような検定も実施が予定されている。旅行分野、添乗員のための検定も作成が予定されており、それぞれ、国家資格取得に向けた対策を行っていく。</p>
<p>評価委員からの評価および意見</p>	<p>評価委員からの意見に対する改善方策</p>
<p>評価項目</p>	<p>(4) 学修成果</p>
<p>・項目4「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」について、現場で働く卒業生のスタッフが学校と事業所で連携できることなど、具体的な取り組みを今後検討させていただきたい。</p> <p>・項目5「卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」について、事業所との協力しながら、同窓会を行うことができている。ホテル、ブライダル業界は転職が多い業界であり、複数</p>	

<p>回転職したものについて、行方不明となるものが多い。現状、京都市内の卒業生についてはカバーできているが、範囲を広げて関西、関東方面の卒業生を追えるようにしたい。</p>		
<p align="center">評価委員からの評価および意見</p>		<p>評価委員からの意見に対する改善方策</p>
<p>評価項目</p>	<p align="center">(5) 学生支援</p>	
<p>・項目7「保護者と適切に連携しているか」、項目8「卒業生への支援体制はあるか」において、本ホテルにて退職代行サービスを使用するケースがあった。従業員と事業所がコミュニケーションをとれていないことが問題ではあるが、離職の際に学校に相談する、在学時から退職の流れを学ぶ機会を作るなどして学校がサポートいただくとありがたい。</p> <p>・①課題に挙がっている「社会人層」について、実際に社会人経験者の入学はあるか。</p> <p>⇒特に添乗員を目指す人に学びなおす傾向が強い。</p> <p>・項目7「保護者と適切に連携しているか」について、いつごろ実施しているか。</p> <p>・ブライダル業界について、親に対しても、業界の説明を行っていく必要があると感じている。また、離職の際には、学校の担任に面談などのフォローを行っていただきたい。卒業生を積極的に活用するような方法で親に対して、業務への理解をいただきたい。</p>		<p>⇒社会人経験を得て入学するものもいるが、実際に仕事をしながら通学するというのは難しい。学びなおし、仕事をしながら学べる形について検討している。</p> <p>⇒1年生の2月に行っている。出席率は2割(40人)ほどである。</p>
<p align="center">評価委員からの評価および意見</p>		<p>評価委員からの意見に対する改善方策</p>
<p>評価項目</p>	<p align="center">(6) 教育環境</p>	
<p>・防災訓練については、毎月実施しているので、見学ツアーを行っていただいても構わない。受</p>		

<p>け入れできるのでぜひ活用していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年から2021年において、オリンピックなどのイベントが続くので、ボランティアとして参加を促してはどうか。ボランティアの参加によって、現場を体験しつつ、単位認定をもらえるような制度の導入はどうか。防災について、消防局で講習を受けると普通救命講習の認定を取得することができる。学科全体として、取得できていれば非常時の際に対応できるなど、対外的なアピールの材料にもなるだろう。 ・京都市内のホテルは大がかりな避難訓練を行っている。繁忙期を外し、実施しており、見学の受け入れも行いやすいだろう。見学は学生にはもちろん、事業所においても刺激になる。ぜひ見学の受け入れをさせていただきたい。 		
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	(7) 学生の受け入れ募集	
・特になし		・特になし
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	(8) 財務	
・特になし		・特になし
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	(9) 法令等の遵守	
・特になし		・特になし
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	(10) 社会貢献・地域貢献	
<p>・社会貢献から募集につながっているか。さまざまな業界を見せたいという意図で研修旅行を実施している高校もある。</p>		⇒高校での認知をきっかけに入学につながっているケースもある。

評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	(11) 国際交流	
	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の入学実績がすくない現状ではあるが、ブライダル業界において、インバウンドが盛んであり、これをターゲットにそれぞれ外国人従業員が対応するようになっている。 ・外国人のお客が多い。近くにある外国語系の専門学校にアルバイトの案内を行っている。外国語学校に行き、良い職場を見つけないかと思っているなど外国人留学生は意欲が高い。語学学校と企業が連携すると良い窓口になるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし